

(様式 1-3)

福島県帰還・移住等環境整備事業計画 帰還・移住等環境整備事業等個票

令和6年4月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	232	事業名	双葉地区特別支援学校（太陽光発電）整備事業（基金型）	事業番号	(1)-15-5
交付団体	福島県		事業実施主体（直接/間接）	福島県	
総交付対象事業費	(18,638 (千円)) 41,590 (千円)		全体事業費	5,056,218 (千円) (内、太陽光発電分 41,590 (千円))	
帰還・移住等環境整備に関する目標					
<p>○福島県いわき市において応急的に学校を再開している富岡支援学校の双葉地区での再開を果たす。 震災からの復興のためには、双葉地区における子どもの帰還を進めることが極めて重要である。 震災以前、双葉地区に設置していた富岡支援学校は震災の影響によりいわき市への避難を余儀なくされ、現在仮設校舎で応急的に再開しているが、年々仮設校舎の老朽化が深刻化していること、また、双葉地区には現在開校している特別支援学校がないことから、本校舎の設置が急務である。 本事業の実施により、双葉地区において新たに魅力ある教育環境を構築することで、双葉地区の子どもの帰還促進、さらには住民全体の帰還促進が期待されることにより、双葉地区における再生加速化を図る。</p>					
事業概要					
<p>○双葉地区での学校再開 ※第7次福島県総合教育計画 主要施策3「学びのセーフティネットと個性を伸ばす教育によって多様性を力に変える土壌をつくる」 特別支援学校整備事業</p>					
当面の事業概要					
<p><令和2年度～3年度> ○学校整備に向け、候補地の諸調査（測量、地質）、開発許可申請、基本設計の発注 小学部プレハブ仮設校舎への対応 <令和4年度> ○実施設計の作成、敷地の造成工事、校舎建設工事の着工準備 <令和5・6年度> ○建設工事の実施、グラウンド整備工事、双葉地区での学校再開</p>					
地域の帰還・移住等環境整備との関係					
<p>○特別支援学校の整備による地域の教育環境の充実に伴い、帰還に向けた環境整備に資する。</p>					
関連する事業の概要					
<p>(1)-14-1 双葉地区特別支援学校（小・中学部増築）整備事業（基金型） (1)-15-3 双葉地区特別支援学校（高等部増築）整備事業（基金型） (1)-15-4 双葉地区特別支援学校（給食施設（小・中学部）新築）整備事業（基金型） (1)-15-5 双葉地区特別支援学校（太陽光発電）整備事業（基金型） ◆(1)-15-4-1 双葉地区特別支援学校（給食施設（高等部）新築）整備事業（基金型）</p>					

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

(位置図)

計画区域

※計画の区域及び事業を実施する場所がわかる図面。

